

心臓血管カンパニー

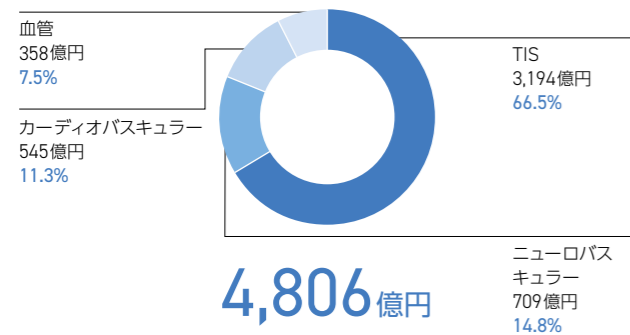


長田 敏彦

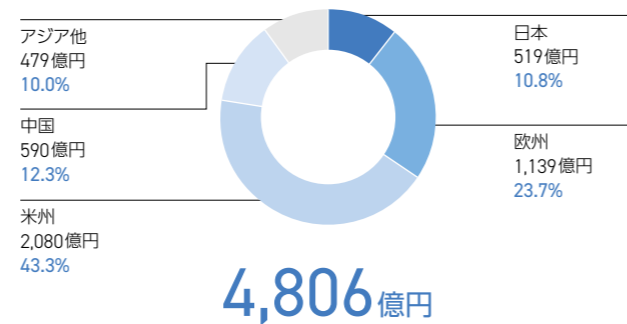
専務経営役員
心臓血管カンパニープレジデント
心臓血管カンパニーTIS事業プレジデント

心臓血管カンパニーでは、成長の3つの柱として「治療領域の拡大」「アクセス事業の拡大」「オペレーションの進化」を掲げ、各事業において具現化を進めています。治療領域では、複数の新製品を予定通り各市場に発売しました。アクセス領域では、冠動脈のみならず、下肢や腹部、脳動脈でもラディアルアプローチを普及させるため、ソリューションを拡充しています。また、DXを活用した生産工程の効率化やオペレーションの強化を通じて、製品の安定供給により一層努めます。患者さんに寄り添い、変わりゆく治療の未来を共に創造してまいります。

事業別売上収益構成比(2022年度)



地域別売上収益構成比(2022年度)



2022年度実績

売上収益 **4,806** 億円
調整後営業利益 **1,122** 億円

外部環境	
機会	リスク
血管内治療*1 ・日帰り手術や病院滞在期間の短縮に対するニーズの高まり ・治療対象の高齢化に伴う、低侵襲治療のニーズ拡大 ・新たな血管内治療領域拡大に伴う堅調な市場成長 ・脳血管疾患の治療ガイドラインにおいて血管内治療が選択肢として拡大 ・大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術のデバイス性能や臨床成績の向上	血管内治療*1 ・欧州医療機器規則(MDR)などの規制強化への対応 ・中国政府による国産メーカーの優遇・購買形態の変化 ・新たな治療法開発による既存市場の縮小 ・競合各社における治療エビデンス確立による競争環境の激化
外科治療*2 ・経皮的心肺補助(PCPS/ECMO)市場の堅調な伸び ・新興国市場における医療の発展、ライフスタイルの変化に伴う西洋型疾病の増加による市場拡大 ・ハイブリッド手術*3の普及・拡大	外科治療*2 ・欧州医療機器規則(MDR)などの規制強化への対応 ・外科手術から血管内治療への移行などによる医療の低侵襲化(市場の縮小)

*1 血管内治療:TIS事業、ニューロバスキュラー事業、血管事業(ステントグラフト)
 *2 外科治療:カーディオバスキュラー事業、血管事業(人工血管)
 *3 外科手術で使用する人工血管とカテーテル手術で使用するステントグラフトを組み合わせた手術方法

強み
<ul style="list-style-type: none"> ■製品の適正使用や製品を用いた手法の普及を促進する医療従事者へのトレーニング ■KOL*4との強いパートナーシップ ■自社の技術とM&Aで獲得した技術の融合とユニークで高品質な製品の開発力 ■グローバルな販売・マーケティングおよび臨床開発・薬事の体制 ■高品質な製品をグローバルで安定供給する生産体制
血管内治療*1 <ul style="list-style-type: none"> ■血管アクセス製品の高いシェアと競争力 ■低侵襲治療やTRI*5を推し進める企業としてのブランド力 ■血管内治療に用いられる幅広い製品群による顧客提案力
外科治療*2 <ul style="list-style-type: none"> ■人工肺や人工血管製品の高いシェアと競争力 ■世界で唯一、人工肺のファイバー*6を自社開発し、量産化した開発・生産技術力 ■ECMOをはじめとする救命医療に欠かせない製品の開発・供給能力

*4 Key Opinion Leader (キー・オピニオン・リーダー)
 *5 橋骨動脈からアプローチするソリューション
 *6 人工肺に使用される製品素材の一つ

TIS事業

心臓や下肢の血管の病気やがんに対し、カテーテルを用いて治療する「バスキュラーインターベンション(血管内カテーテル治療)」に関する製品を展開。治療効果の向上と、デバイスを扱うドクターが求める操作性・品質を追求するとともに、患者さんの身体にやさしい治療(低侵襲治療)の発展に貢献しています。

ニューロバスキュラー事業

脳動脈瘤や脳梗塞に対する血管内治療デバイスを中心とした製品を展開しています。症例に適した素材や設計の技術を活かし、革新的なデバイスを創出することで、患者さんの負担が少ない脳血管治療の可能性を広げます。

カーディオバスキュラー事業

心臓外科手術中に停止させた心臓や肺に代わって血液を体外で循環させる人工心肺装置、血液のガス交換を担う人工肺や、緊急症例の患者さんの心肺機能を補助する体外式膜型人工肺(ECMO)などの製品を展開しています。また、この事業と連携して展開している、世界初の再生医療等製品「ハートシート」は、重症心不全患者さんの新たな治療の選択肢として期待されています。

血管事業

胸部および腹部の瘤や解離といった大動脈疾患に対する外科手術と血管内治療で用いる人工血管とステントグラフトを中心に、幅広い症例に対応する多様な製品ラインアップを展開。世界100以上の国で多くの患者さんの治療に貢献しています。

2023年度の重点施策

TIS事業

ラディアル手技の普及、治療領域での成長とオペレーション基盤の強化

- **ラディアル・ファーストの促進:** 手首から腹部を治療するための血管造影用カテーテルを日本、米国に続き欧州および中国で発売。下肢用サポートカテーテル「R2P NaviCross」が米国で認可取得。発売に向けて準備中
- **幅広い治療ソリューションの提供:** 欧州で薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster Nagomi」を全面展開。末梢血管領域では、血管内塞栓用コイル「AZUR」シリーズを中国へ導入
- **オペレーション改革:** 愛鷹工場のスマートファクトリー化が実行フェーズへ。生産自動化、在庫最適化を進め、収益性を改善。ベトナム工場での太陽光発電ノウハウを他工場に展開し、カーボンニュートラルに向けた取り組みも加速



薬剤溶出型冠動脈ステント
「Ultimaster Nagomi」

ニューロバスキュラー事業

製品ポートフォリオ・シェアの拡大と生産オペレーションの効率化

- **製品ポートフォリオの拡充:** 脳梗塞、脳動脈瘤で新製品・品種を追加。米国にて脳梗塞治療用の血栓除去デバイス「ERIC」を発売。ラディアルアプローチ拡大に向けた取り組みでTIS事業と連携
- **製品シェアの拡大:** 競争優位性の高い主力製品に注力し、地域拡大も含めてグローバルシェアの拡大を目指す
- **安定供給、最適地生産:** サプライヤー管理も含めた供給体制の安定化と、北米・コスタリカ生産の最適化を継続して進める



血栓除去デバイス「ERIC」

カーディオバスキュラー事業

コスタリカ生産移管によるコストダウンと在庫オペレーションの改善

- **コストダウン:** コスタリカへの生産移管を着実に実行し、収益改善を進める
- **オペレーションの効率化:** 販売・在庫・生産計画の改善、安定供給
- **製品開発:** 人工肺ポートフォリオの強化、新血液ガスモニタリングの米国導入に向けて取り組む

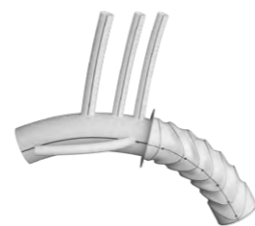


人工心肺用回路システムを生産しているコスタリカ工場

血管事業

成長市場での販売拡大とそれを支える生産体制の構築

- **販売マーケティング:** 胸部用ステントグラフト「RelayPro」の米国での適応拡大と日本市場への胸部用フローゼンエレファントトランク「Thoraflex Hybrid」の導入を踏まえ、米欧日の3市場で販売拡大
- **オペレーションの安定化・効率化:** 生産能力の増強によって売上成長を支えながら、北米・欧州・アジア生産の最適化を図る
- **製品ラインアップ、適応の拡大:** 新たな製品・ソリューションへの投資を継続する



胸部用フローゼンエレファントトランク
「Thoraflex Hybrid」

TOPICS

進化を続けるラディアル手技の普及に貢献

テルモはトランスラディアルインターベンション(TRI、手首の動脈からアクセスして行うカテーテル治療)の普及に努めています。従来、カテーテル治療は太ももの付け根の血管から行われており、患者さんは手術後に数日間の入院が必要でした。TRIによって患者さんの負担が軽減され、日帰り診断・治療が可能になり、QOLの改善と医療経済性の向上につながっています。現在はグローバルで行われる冠動脈カテーテル治療の約7割が手首から行われるまでになっています。

テルモは、心筋梗塞や狭心症の治療から広まったラディアルアプローチを、より多様な治療に広げる取り組みをしています。既に下肢の動脈硬化の治療や肝がんの治療では、手首からのカテーテル治療が実施されています。また、脳動脈瘤や脳梗塞の診断・治療においても、ラディアルアプローチが急速に広がりつつあります。身体への負担の少ないラディアルインターベンションを、より多くの患者さんに届けるべく、テルモは取り組みを続けていきます。

質の高いトレーニングを世界の医療従事者に

テルモは、医療機器の適正使用に関するトレーニングだけでなく、より実臨床に近い状況でトレーニングモデルを用いることで、医療従事者が「失敗から学ぶ」ことができるシミュレーション教育を世界各地で提供しています。

2002年に設立されたテルモメディカルプラネックスには、設立以来19万人が訪れ、カテーテル治療、心臓外科手術のトレーニングや、新製品開発に向けた技術者と医療従事者の意見交換に活用されています。

テルモのトレーニングプログラムの質は海外のアカデミアにも認められており、毎年フランスのパリで開催される世界最大級のカテーテルインターベンション学会「EuroPCR」では2018年より学会とテルモのジョイントプロジェクトとして、トレーニングプログラムを開催しています。今年も3日間で9回のトレーニングコースを開催し、200人以上の医師が参加する盛況ぶりを示しました。

医療従事者に高品質のトレーニングを継続的に提供するためには、社内におけるトレーナー人材の教育も不可欠です。テルモでは知識や実技をアップデートするための豊富な教育機会を提供するとともに、製品や領域ごとに認定制度を設けて、トレーナー人材の確保と質の向上に努めています。



テルモはEuroPCRと共同(ジョイント)でトレーニングプログラムを開催

治療の個別化を推進し、一人ひとりの患者さんにより最適な医療を

テルモの心臓血管カンパニーが考える個別化医療とは、患者さん固有の特徴やリスクに応じて最適な医療を提供することです。例えば、テルモが2020年に買収したクイレム・メディカル社が提供する放射線ビーズは、カテーテルを通して肝動脈に運ばれ、放射線でがん細胞を攻撃します。本製品には、MRIなどの画像診断装置で視認できる特殊なビーズを採用しており、手術前に一人ひとり異なる血管走行を事前に確認して、最適な治療戦略を選択することができます。また、術後に治療用ビーズの状態を確認することができるソフトウェアも提供しています。

血管内超音波画像診断システム(IVUS)や血管内光干渉断層画像診断システム(OFDI)は、心筋梗塞や狭心症を治療する前の診断に用いられます。血管の径、病変の長さや状態などを確認することで、最適なサイズのステントを選択することが可能になります。テルモの最新型の薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster Nagomi」では、患者さんの病変に応じて選択できるよう、豊富なサイズバリエーションを揃えています。

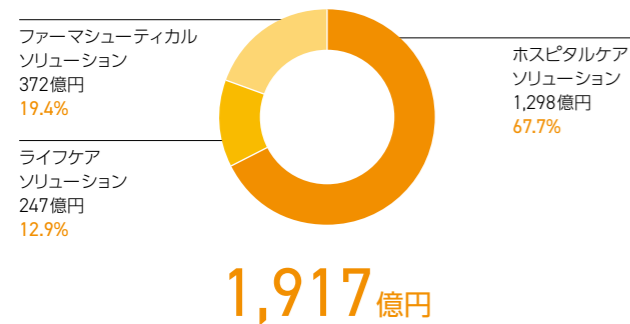
メディカルケアソリューションズカンパニー



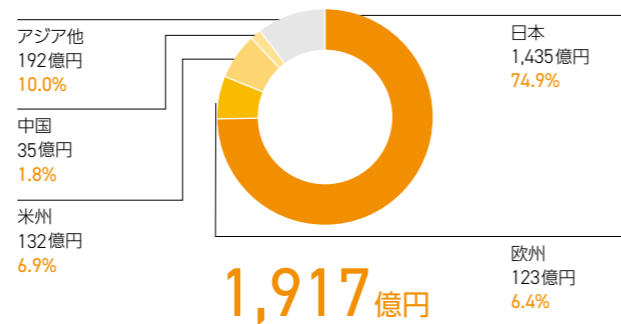
鮫島 光
専務経営役員
メディカルケアソリューションズカンパニープレジデント

現在、医療の場は病院だけでなく、在宅も含めて広がりをを見せています。コロナ禍を通じて医療安全や感染対策への意識はさらに高まり、技術革新を通じて個別化医療や遠隔医療などの新しい成長市場が生まれてさまざまなニーズが浮き彫りになっています。私たちは昨年、「Terumo Medical Care Solutions」というソリューションを軸としたビジネスブランドを制定しました。このブランドでは「Quality time for better care」というブランドプロミスを掲げています。私たちは、患者さんに寄り添い、医療現場の課題を解決する新たなソリューションを提案し続けることで、医療に関わるすべての人に「質の高い時間(とき)」を創出してまいります。

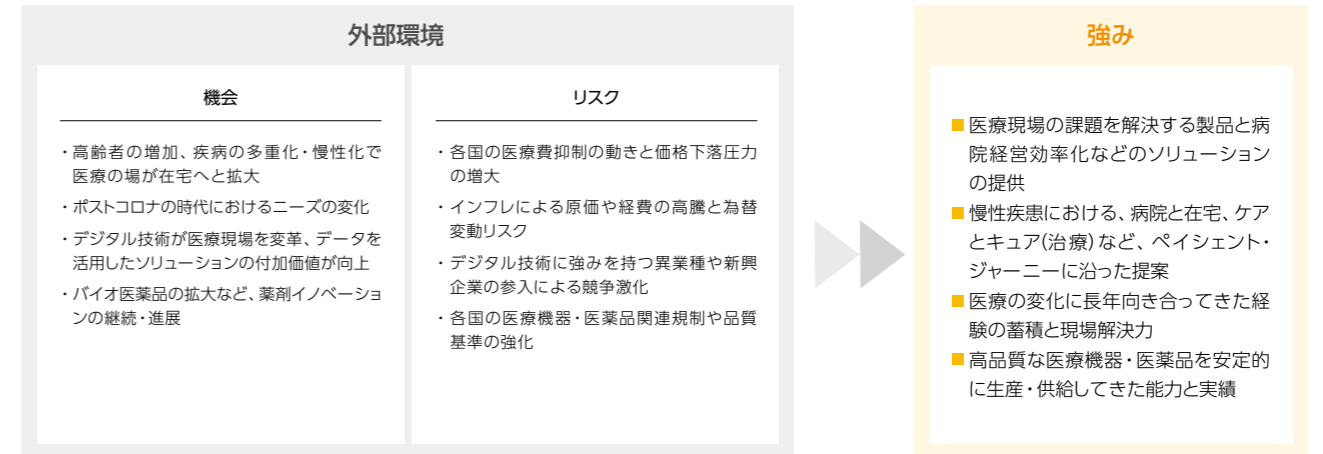
事業別売上収益構成比(2022年度)



地域別売上収益構成比(2022年度)



2022年度実績



ホスピタルケアソリューション事業

病院が抱える多様な課題へのソリューションを提供し、医療の質や安全性の向上に貢献

ホスピタルケアソリューション事業は、医療安全、院内感染対策、医療費の抑制といった医療現場の多くのニーズに対して、患者さんや医療従事者の負担軽減、使い勝手向上につながる製品開発、医療機器使用における運用サポート、医療従事者へのトレーニングプログラムなどさまざまな提案を行っています。単なる製品提供では解決し難い課題に対するソリューション提案を通じ、「治療の安全性向上」「業務の効率化」「患者さんのQOL向上」に貢献します。

ライフケアソリューション事業

健康を願う全ての人に寄り添い、それぞれの患者さんに合ったソリューションを提案

ライフケアソリューション事業は、糖尿病や高血圧をはじめとした慢性疾患を抱えながら生活している一人ひとりの患者さんにとって、個別に最適化された医療を実現するソリューションを提供しています。健康を願う全ての人に寄り添った新たな価値創出を通じて、「患者さんの予後改善」「重症化予防」そして「QOLの向上」に貢献します。

ファーマシューティカルソリューション事業

独自の技術で医薬品の価値向上とドラッグデリバリーの発展に貢献

プレフィルド(薬剤充填済み)製品で培った独自の技術を生かし、製薬企業に新たな薬剤投与デバイスを提案しています。薬剤に適した素材技術を組み合わせたデバイスの開発や、高度な製造技術を活かした医薬品と医療機器のコンビネーションプロダクトの設計・製造を行っています。治験薬の製造から商用製品の生産に至るまで、製薬企業とのアライアンスを通じて、トータルソリューションを実現するとともに、患者さんにとって必要な薬剤を、安全かつ確実にお届けしています。

2023年度の重点施策

ホスピタルケアソリューション事業

- **周術期ソリューション:** シリンジポンプや輸液ポンプを軸とした薬剤管理のためのデジタルヘルス推進や誤接続などの医療事故低減に寄与する製品・サービスの展開を図り、業務効率化・安全性の向上で病院経営にも貢献していきます。
- **感染対策ソリューション:** 手指衛生や環境整備などのソリューションを拡充して医療従事者の安全に貢献するとともに、アジアをはじめとする海外展開も加速していきます。
- **Women's Healthソリューション:** 低侵襲手術への寄与が期待されるスプレー式癒着防止材「アドスプレー」の普及に加え、フルディスポーザブル硬性子宮鏡「オペラスコープ」の販売を開始し、ユニークでサポータティブな製品・サービスの拡大を目指していきます。
- **外来化学療法ソリューション:** 外来化学療法システム「TS-CHOIS」を本格的に展開し、通院される患者さんの治療時間を効率化するとともに医療従事者の業務効率化・安全性の向上で病院経営にも貢献していきます。
- **リーナル(腎臓)ケアソリューション:** 腹膜透析の負担軽減と使いやすさを追求した製品の普及を進めるとともに、IoT化で遠隔モニタリングを実現して合併症の予防を目指した新製品の販売を開始します。



フルディスポーザブル硬性子宮鏡「オペラスコープ」

ライフケアソリューション事業

- **糖尿病ケアソリューション:** 糖尿病をお持ちの方の治療アウトカム向上に向けて、国内外でデジタル連携開発を進めます。インスリンポンプ「メディセーフウィズ」では、“もっと自分らしい毎日”の実現を目指し、専用リモコンをスマートフォンタイプにリニューアルした製品の販売を開始します。
- **ベッドサイドケアソリューション:** バイタル記録の電子化を進めるとともに、医療従事者の業務時間を軽減して患者さんとの対話の時間を増やすことを目指した新しいコンセプトの病院向け血圧計の販売を開始します。
- **予防・重症化領域ソリューション:** 体温計のリブランディングを進めるとともに、フルモデルチェンジしたテルモ史上最速の体温計の販売を開始します。



専用リモコンをスマートフォンタイプへリニューアルしたパッチ式インスリンポンプ「メディセーフウィズスマート」

ファーマシューティカルソリューション事業

独自の技術とソリューションを展開する開発製造受託(CDMO)においても初となる、オンボディンジェクターの販売を開始しました。CDMOビジネスはこれまで国内製薬企業が中心でしたが、本年度より海外製薬企業向けのプロモーションを開始しています。国内外で新たなビジネス機会も着実に増えており、受託生産能力の拡大を進めています。



協和キリン株式会社が発売している「ジーラスタ®皮下注3.6mg」と薬液を自動投与するデバイス(オンボディンジェクター)を組み合わせたコンビネーション製品「ジーラスタ®皮下注3.6mg ボディーポッド」

全体オペレーション

昨年度はインフレによる原価や経費の増加、為替変動の影響により収益面で苦戦を強いられました。本年度は単年に加え中期での収益改善計画を実行に移します。生産オペレーション全体の改善としては、アジア生産工場のポートフォリオ変更、国内での生産再編、工場の新棟活用などにより成長機会の実現に取り組みます。

新ブランドの浸透

昨年度の新ブランド発表以降、主にアナウンスと社内への浸透を図ってきました。本年度からは、ブランド価値を積み上げることで顧客からの期待値を高め、「選ばれるブランド」になるためのコミュニケーション戦略を進めています。

TOPICS

ファーマシューティカルソリューション事業： 製薬企業向けプレフィルドシリンジ製剤開発製造受託の挑戦

昨年、テルモのホスピタルカンパニーはメディカルケアソリューションズカンパニーへと名称を変更するとともに、Terumo Medical Care Solutionsという新たなビジネスブランドの展開を開始しました。この新たなブランドのもと、ファーマシューティカルソリューション事業も大きく進化し、新しい挑戦を始めています。テルモは1999年に予め薬液が注射器に充填されているプレフィルドシリンジ製剤の販売を開始し、医療現場の薬剤取り違えミスによるインシデント防止に大きく貢献してきました。この技術と経験を礎として、2001年から製薬企業向けプレフィルドシリンジ製剤開発製造受託(現在のCDMO)を開始、2009年には協和発酵キリン株式会社(現 協和キリン株式会社)からシリンジデザインを共同開発した持続型赤血球造血刺激因子製剤が日本で発売されました。その後も数多くの製薬会社との提携を通じて順調に発展を続け、現在のファーマシューティカルソリューション事業となっています。

テルモのCDMOビジネスモデルは、一般的な受託製造モデルとは異なるユニークな強みを持っています。医療機器企業でありながら医薬品も取り扱ってきた知見を最大限に活かし、製薬企業からの要望に耳を傾けながら、医療現場の課題に応えつつ薬剤の可能性を引き出すデバイス開発、シリンジの成型から、充填、組立、包装まで一気通貫での生産、そして医薬品の早期開発段階から開発計画、薬事申請等の観点で製薬会社をサポートするトータルソリューションを提供することが最大の長特となっています。

昨年には、身体に貼り付けて自動的に薬剤を投与することができるオンボディンジェクターという初めてのデバイス開発を完遂し、実生産を開始しています。本デバイスは薬剤の投与が翌日自動で行われるため、通常はがん化学療法剤投与終了翌日以降に医療機関で投与される薬剤と組み合わせることで、患者さんの通院負担を軽減することが期待されており、患者さんに寄り添う新たなソリューションを提案した好事例となっています。



今後の挑戦

投与される場所も対象の疾患も多様化するなど、CDMO市場は着実に成長しています。新たに対象とする疾患の例として、イーザイ株式会社が開発中のアルツハイマー病治療薬のコンビネーション製品(オートインジェクター製剤)について、同社と共同開発を進めています。また、これまで国内製薬企業が中心だったCDMOビジネスについて、2023年度からは海外製薬企業向けのプロモーションも開始し、日本で成功したCDMOビジネスモデルのグローバル展開を図っています。それらを視野に入れて生産能力増強を計画し、2025年度の竣工に向けて準備を進めています。

ファーマシューティカルソリューション事業は、薬の価値を最大化するソリューションを提供すべく新たな挑戦を続け、世界の製薬企業から選ばれるパートナーになるとともに、医療に関わる全ての人に「質の高い時間」を創出していきます。

血液・細胞テクノロジーカンパニー

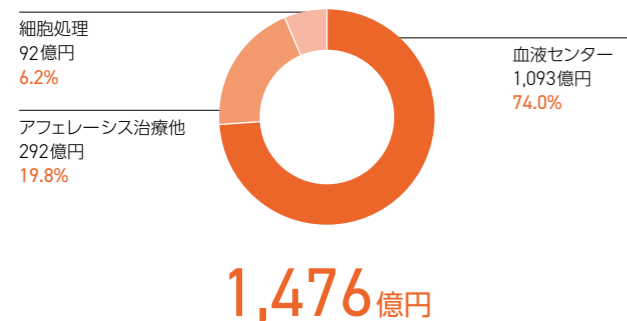


アントワネット・ギャヴィン

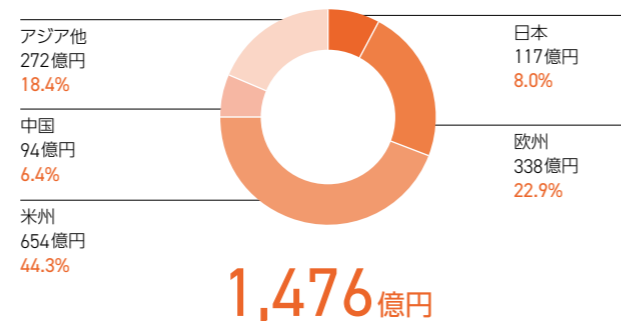
常務経営役員
血液・細胞テクノロジーカンパニープレジデント
テルモBCTホールディング社取締役社長兼CEO

安全な血液や医療へのアクセスの状況は世界各国で大きく異なりますが、私たちは自分たちの製品やソリューションに常に誇りと自信を持っています。「医療を通じて社会に貢献する」という私たちの理念には、製品技術的なイノベーションだけでなく、治療の標準化を支えることや、医療へのアクセスを妨げている障壁を取り払うための活動も含まれています。私たちは常に進歩を目指し、より広い意義を有する我々の使命を日々の意思決定や長期的なビジョンの指針としています。

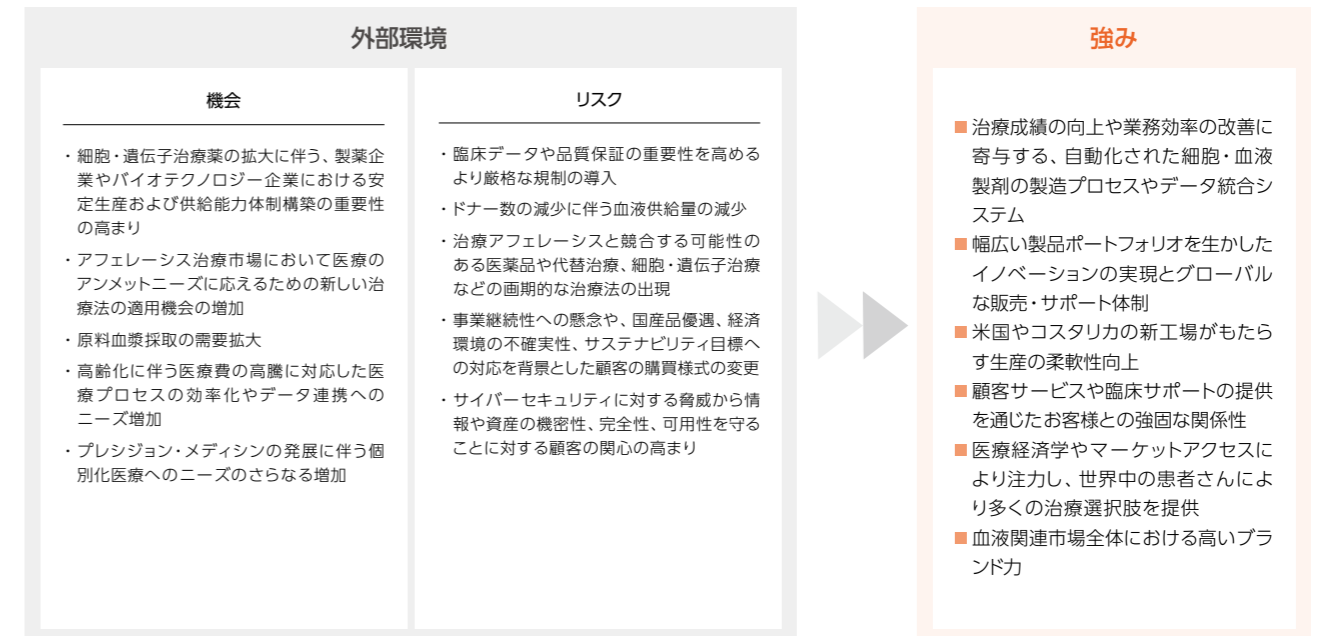
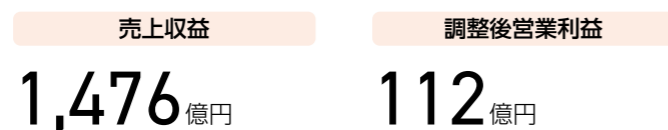
事業別売上収益構成比(2022年度)



地域別売上収益構成比(2022年度)



2022年度実績



血漿イノベーション

希少・難治性疾患の治療に使われる血漿分画製剤の製造に必要な原料血漿の採取を通じて、血漿治療の発展に資するエコシステムを提供しています。ドナーの安全性を確保しながら効率的で高品質な原料血漿供給を実現するため、研究開発とプロセス改善に取り組んでいます。

血液センターソリューション

血液センターで行われる採血と製剤化プロセスにおいて、品質と効率の向上を実現。プロセスの自動化により、各ドナーから最適な血液成分を採取し、患者さんのもとに必要な血液製剤を提供できるように支援します。

アフエーシス治療・細胞採取

血液や細胞の病気に対し、病原となる血液中の不要な成分を分離・除去したり、治療に必要な成分を採取します。テルモが得意とする遠心分離技術を活用して、さまざまな疾患と闘う患者さんに、新たな治療の選択肢を提供することを目指しています。

細胞治療テクノロジー

急速に進化している細胞・遺伝子治療の市場において、製薬企業やバイオテクノロジー企業は研究や薬の製造を行うためにドナーからの細胞を必要としています。当カンパニーでは従来の小規模かつ手作業による細胞製剤の開発から、新たに自動化工程を導入する際の支援をしています。それにより商業化のニーズを満たし、より多くの患者さんが先進的な治療を受けられるよう取り組んでいます。

2023年度の重点施策

顧客へのコミットメントを新たにする

患者さんの治療成績を向上させ、未充足の医療ニーズに応えるために血液と細胞治療の持つ可能性を追求するという強い願いのもと、安定供給や製品の機能強化、優れた品質の製品・ソリューションで顧客の期待に応えることに注力します。



原料血漿採取システム「Rika」



細胞増殖システム「Quantum Flex」

オペレーションの変革

グローバルな供給システムの構築と販売能力の向上に継続的に取り組み、製品を顧客や患者さんにとってより身近なものにしていきます。



主に米州の顧客へ製品を供給するコスタリカ工場



原料血漿採取システム「Rika」のディスプレイ製品を生産する米国のリトルトン工場

展開地域の計画的な拡大

高い未充足ニーズがある地域において、ポートフォリオの全ての製品を展開していきます。



成分採血システム「Trima Accel」



血液自動製剤システム「Reveos」



遠心型血液成分分離装置「Spectra Optia」

TOPICS

これまで医療を届けられなかった患者さんに命を救う技術を

中国

中国では、中国全土を対象とした「Optia Rising」というプロジェクトを立ち上げ、治療アフェレーシスおよび細胞処理・採取プラットフォームで業界トップレベルにある「Spectra Optia」の市場展開を進めています。このプロジェクトは、血漿交換もしくは細胞採取に基づく治療を必要とする4百万人以上の患者さんが存在する中国市場において、同システムが持つ多様な機能を提供することを目的としています。

治療の対象となる診療科は、腫瘍科、神経内科、腎臓内科、肝臓内科など多岐にわたります。一つの事例として、私たちは急性肝不全における治療アフェレーシスの有効性と安全性を実証する研究に投資しています。

また、患者さんが経済的にこれらの治療へアクセスできるように、地方政府レベルで保険償還施策に取り組んでいます。

アフリカ

アフリカでは、大陸全体での安全かつ必要十分な血液の確保に重点を置き、鎌状赤血球症や妊産婦の健康課題に対する未充足の医療ニーズが最も高い国々での活動に注力しています。これらの取り組みは、将来50万人以上の患者さんに良い影響をもたらす可能性があります。

学術論文誌「Africa Sanguine」に掲載されたテルモBCTの研究*1では、ガーナ、ケニア、コートジボワールにおいて、分娩後出血死を防ぐために必要な安全な血液供給への投資増が社会的便益をもたらすとともに、2年以内に大幅なコスト削減効果が得られる可能性が高いことが示されました。この研究の開始以降、研究対象となったいずれの病院でも妊産婦の死亡率が西欧と同等の水準にまで低下しました。

私たちは「Coalition of Blood for Africa (CoBA)」*2にも投資しています。CoBAは公共・民間セクター、研究機関、学術機関、非営利団体、市民社会団体などさまざまなステークホルダーで結成された組織で、サブサハラ・アフリカ地域における血液および血液供給インフラの強化に取り組んでいます。CoBAへの投資は、私たちがアフリカ地域の患者さんへの貢献と、安全でアクセスしやすかつ持続可能な血液供給に尽力していることを示しています。

*1 [https://www.terumobct.com/Pages/News/Press Releases/First-study-published-positive-health-economic-impact-blood-shortages-treat-maternal.aspx](https://www.terumobct.com/Pages/News/Press_Releases/First-study-published-positive-health-economic-impact-blood-shortages-treat-maternal.aspx)

*2 <https://www.cobafrica.org/workstreams/>

